第1学年　音楽科　年間指導計画

音楽科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

第1学年の目標

（1）音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を養い、音楽によって生活を明るく豊かなものにする態度を育
（2）多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、基礎的な表現の技能を身につけ、創意工夫して表現する能力を育てる。
（3）多様な音楽のよさや美しさを味わい、幅広く主体的に鑑賞する能力を育てる。

学期	月	題材名	評価規準	主な教材	時	評価基準 知識・技能	評価基準 思考・判断・表現	評価基準 主体的に学習に取り組む態度	学習指導要領の内容 表現 表現 曲想と表現	表現 表現 発声と言葉の表現	表現 表現 声部の役割と響き	表現 創作 言葉や音階など	表現 創作 音素材と構成	鑑賞 音楽の構造と曲想・比評	鑑賞 音楽と文化・歴史	鑑賞 音楽の多様性	共通事項	評価資料
一学期	4	曲の構成を感じ取って、歌唱表現を工夫しよう。	歌詞の内容を味わい、その言葉を聞き手に届けるような歌い方を工夫する。	「校歌」 「主人は冷たい土の中に」 「Let's Search For Tomorrow」 「エーデルワイス」		曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	旋律、形式、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○							音色・旋律・強弱・リズム・テクスチュア	授業観察
	5	曲のまとまりを感じ取って表現しよう。	リズムや旋律などの、音楽を形づくっている要素を知覚する。音楽の構成を理解して、表現を工夫する。			曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	旋律、音色、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○							リズム・旋律・形式・構成	授業観察 実技テスト ノート
		詩の内容と曲想の変化との関わりを感じ取ろう。	詩の内容と音楽を形づくっている要素の働きとの結びつきを感じ取って聴き、音楽のよさや美しさを味わう。	「魔王」		曲想と音楽の構造とのかかわりについて理解している。	音色、リズム、テクスチュア、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととのかかわりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽の良さや美しさを味わって聴いている。	曲想と音楽の構造とのかかわりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。						○	○		リズム・旋律・形式・構成	ノート 授業観察
	6	パートの役割や旋律の重なり方、曲想を感じ取り速度や曲想を生かした表現を工夫しよう。	歌詞の内容や曲想、声部の役割や全体の響きなどを感じ取って、曲にふさわしい表現を工夫して歌う。	「夢の世界を」 「COSMOS」 「大切なもの」		曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関りについて理解している。 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	旋律、音色、強弱・テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○							音色・旋律・強弱・リズム・テクスチュア	授業観察
			指揮をしてみよう			音楽の特徴や音の重なりの特徴を知覚し、基礎的な奏法を生かしてどのように表現するかについて思いや意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけて演奏している。										旋律・音色・テクスチュア	授業観察 実技テスト
	7	いろいろな音を見つけて、情景を音楽で表そう。	音楽の諸要素の働きを生かした創作をする。	「Let's Create!」		音素材の特徴や、反復、変化などの構成に関心をもちながら、イメージを基に音楽を作る学習に主体的に取り組んでいる。	表現したいイメージをもち、それに合う音素材を選んで、反復、変化などの構成や音の重なりを工夫し、どのように音楽を作るかについて思いや意図をもっている。	音楽素材の特徴、反復、変化などの構成を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけて音楽を作っている。				○	○					提出物
		ソプラノコーダーの奏法を身につけ、演奏しよう。	リコーダーの音色に親しみ、スムーズな運指と息の調節を身につける。また、レガートやスタッカートなどの奏法に精通し楽曲にふさわしい表現を工夫する。	「鉄腕アトム」 「トリステーザ」		2オクターブの音域内の運指を身につけている。4つの奏法を理解し吹き分けられる。息の量とスピードを意識的に調整できる。	楽曲の雰囲気に合わせてどのような音色で演奏するかについて思いや意図を持っている。	リコーダーの技術取得のために効率よく粘り強く練習に取り組もうとしている。	○		○			○		○		音色・強弱・形式・構成	授業観察 提出物 実技テスト
二学期	9	パートの役割や旋律の重なり方、曲想を感じ取り速度や曲想を生かした表現を工夫しよう。	歌詞の内容や曲想、声部の役割や全体の響きなどを感じ取って、曲にふさわしい表現を工夫して歌う。	合唱コンクール自由曲		曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関りについて理解している。 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	旋律、音色、強弱・テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	○	○								旋律・強弱・形式・構成 音色・旋律	授業観察 実技テスト
	10	曲の構成に気をつけながら、曲想の変化を感じ取って聴こう。	音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを感じ取り、その背景となる文化・歴史と関連付けて聴き、よさや美しさを味わう	「春」第1楽章		曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。	音色、旋律、テクスチュア、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽の良さや美しさを味わって聴いている。	曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組んでいる。						○	○		音色・リズム・旋律・強弱・形式	ワークシート 授業観察
		日本の伝統楽器に親しもう。	箏の基礎的な奏法を身につけながら、和楽器に親しむ	「さくらさくら」		楽器の音色や響きと奏法とのかかわりについて理解している。	音色、旋律、速度などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこと殿関りについて考え、どのように演奏するかについて思いや意図を持っている。	楽器の音色や響きと奏法とのかかわりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。										
	11	詩や曲の雰囲気に合った声で、言葉を大切にして歌おう。	歌詞の内容と強弱や形式との関わり、拍子や伴奏が生み出す雰囲気を感じ取り、表現を工夫して歌う。	「浜辺の歌」 「赤とんぼ」		曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関りについて理解している。 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、歌詞の内容や曲想を感じ取って音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○								授業観察 実技テスト
	12	アジア各地の音楽に触れ、音楽や音色の特徴を感じ取ろう。	アジアの音楽の味わいと音楽を形づくっている要素との関わりを感じ取って鑑賞する。	アジアの諸民族の音楽		音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わり、アジアの諸民族の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。	音色、リズム、旋律、テクスチュア、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、生活や社会における音楽の意味や役割、音楽表現の共通性や固有性について自分なりに考え、音楽の良さや美しさを味わって聴いている。	音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わり、アジアの諸民族の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。						○	○	○		ワークシート 授業観察
三学期	1	日本の伝統音楽に親しみ、音楽の特徴を感じ取ろう。	箏や尺八の音色や奏法による旋律と曲想との関わりを感じ取り、箏曲や尺八音楽の特徴をその背景となる文化・歴史と関連付けて聴き、よさや美しさを味わう	箏曲「六段の調べ」		音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解している。	音色、リズム、旋律、テクスチュア、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、生活や社会における音楽の意味や役割、音楽表現の共通性や固有性について自分なりに考え、音楽の良さや美しさを味わって聴いている。	楽器の音色や奏法の特徴、音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。						○	○	○	リズム・旋律・速度・音色	提出物 授業観察
	2 3	パートの役割や旋律の重なり方、曲想を感じ取り速度や曲想を生かした表現を工夫しよう。	歌詞の内容や曲想、声部の役割や全体の響きなどを感じ取って、曲にふさわしい表現を工夫して歌う。	式歌		曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関りについて理解している。 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、歌詞の内容や曲想を感じ取って音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○								授業観察 実技テスト